



# ホワイトインパルス出動！

## 青森空港除雪隊

ALPA Japan AGE 委員会は、日々のフライトでお世話になっている空港を訪問し、現場レベルで顔の見える活動を行っています。今回は今年開港 50 周年を迎える、冬期運航真っ最中の青森空港において視察を実施しました (2014.2.4)。

### 1. 除雪車 56 台！青森空港除雪隊「ホワイトインパルス」

青森空港の年度別降雪量(11/1 から 3/31)は、H20 から 24 年度の過去 5 年間の平均が 797cm、平成 24 年度には 993cm を記録しており、まさに豪雪空港と言えます。その屈指の降雪量を誇る青森空港で活躍する除雪隊に今冬、「ホワイトインパルス」と命名し、高い除雪能力の一層の向上と広報活動を行っています。



手前より「ロータリー車」「プラウ付スノーパー車」

#### 《除雪作業開始基準》

「ホワイトインパルス」は原則として、滑走路、誘導路ならびにエプロンの積雪が 3cm 以上となった場合及び、3cm 以上積もると判断される場合、ならびに雪氷調査により青森空港離発着基準値 (就航している航空機毎に定められた運航条件、滑走路路面状況、雪質などを基に総合的に判断) 以下となった場合に、除雪機械約 40 車両 (総車両数 56 台) を駆使して除雪を開始します。

#### 《除雪所要時間》

運用時間外の早朝は、基準積雪 3cm の場合で約 2 時間。

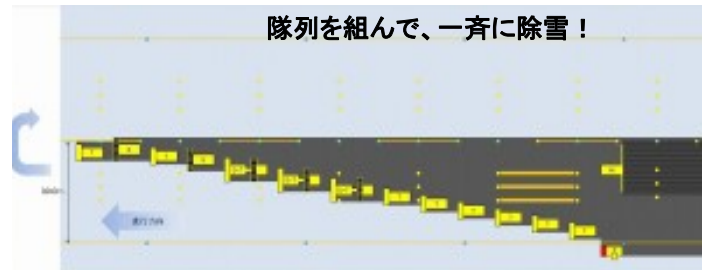
運用時間内では、40 分を目標として除雪を行っています。

なお、「ホワイトインパルス」の活躍は、公式動画として You Tube でご覧頂けます。

<https://www.youtube.com/watch?v=hra5yU6Xg4Q>

<https://www.youtube.com/watch?v=uubBH8UZw-Y>

#### 隊列を組んで、一斉に除雪！



## 2. 滑走路摩擦係数の測定

《摩擦係数の測定》

SFT車（Surface Friction Tester 車:SAAB）を使用し、定時調査は毎朝7時30分の1回、実施されます。

それ以外の臨時調査は、

- ・降雪があった時
- ・除雪作業が終了した場合
- ・雪氷状況が著しく変化した場合
- ・特に要請があった場合
- ・その他必要があると認めた場合

におこなわれ、目標時間は20分（除雪と同時に行う場合は、除雪終了後）としています。



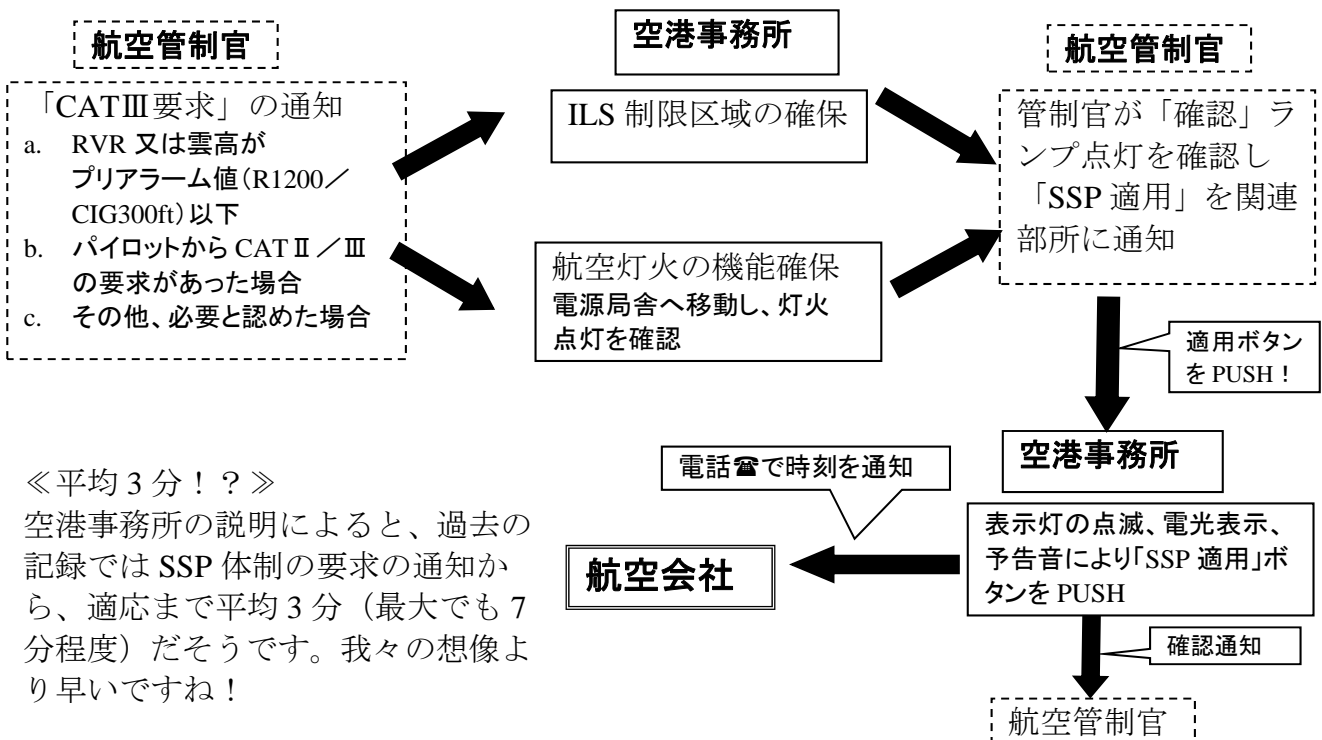
車体下部の測定用車輪

## 3. CATⅢとSSP（Special Safeguards and Procedures）体制について

青森空港は標高が高く、霧などの視程障害が発生しやすいことから、2007年3月にCATⅢa、2012年7月からはCATⅢbの共用を開始しました。その結果、欠航率が大幅低下となっています。また、ILS24 Final 近辺に自生する樹木が制限表面に影響している問題は、解決の方策が進行し、間もなくクリアとなることが確認出来ました（追記：2/21より通常運航）。

青森空港管理事務所ではSSP体制の準備段階として、空港内立ち入り者の管理、施設や灯火の電源設備と運転状態の点検などを行っています。そして実際にSSP体制が発令された場合、管理事務所ではILS制限区域の確保と航空灯火の機能確保を行っています。また航空管制官と関連部所との間の通報には通常、「SSP運用処理装置」が使用されます。

その後は以下のフローに従って実施されます。



《平均3分！？》

空港事務所の説明によると、過去の記録ではSSP体制の要求の通知から、適応まで平均3分（最大でも7分程度）だそうです。我々の想像より早いですね！

当日は滑走路・誘導路や消防署の視察を行い、除雪車を間近に見ることが出来ました。さらに空港事務所の方々との意見交換会を実施する等、非常に有意義な視察となりました。AGE委員会では、空港設備等に関する皆様からのご意見をお待ちしています。

ご意見は [airport@alpajapan.org](mailto:airport@alpajapan.org) まで！